

【エクアドル経済:2016年12月】

1 国債の発行

(1) 12月8日、エクアドル財務省は、本年3回目となる国債(7.5億ドル、配当率9.65%、期間10年)を海外市場において発行した旨プレスリリースにて公表。これは、本年に発行された他の国債と比べ、配当率が低く、期間は最も長い。

(2) 財務省によると、本新規国債による収入は本年の公共投資等に関する国家予算の執行に充てられる。エクアドルの公共債務(公共債務のうち、公的機関からの債務を除く長期債務(deuda consolidada))は、本年10月時点で256億8,200万ドルであり、右国内総生産に占める割合は26.7%である。

(3) 2015~16年に発行されたエクアドルの国債は以下のとおり。

2015年3月 : 7.5億ドル(5年物、配当10.5%)

2015年5月 : 7.5億ドル(5年物、配当8.5%)

2016年6月 : 10億ドル(6年物、配当10.75%)

2016年9月 : 10億ドル(6年物、配当10.75%)

2016年12月 : 7.5億ドル(10年物、配当9.65%)

2 EUとの通商協定へのエクアドルの加入

(1) 12月19日、EUとコロンビア及びペルーとの通商協定へのエクアドルの加入に関する議定書が、欧州議会における承認の後、エクアドル国会により承認され、20日、同じく大統領により承認され、同議定書の批准について官報に掲載された。

(2) 12月24日、エクアドル貿易省は、同日、エクアドルのEUとの通商協定への加入に係る議定書(Protocolo de Adhesion)がEU官報(Nº. L356)に掲載された旨のプレスリリースをHPに掲載した。右官報への議定書掲載を受け、2017年1月1日付で協定が発効した。

3 フルータ・デル・ノルテ鉱山採掘にかかる Lundin Gold 社との契約署名

(1) 12月15日、鉱業省は、Lundin Gold社(カナダ企業)との間で、エクアドル国家戦略プロジェクトに位置づけられるフルータ・デル・ノルテの採掘のための契約署名を行った旨、プレスリリースにて公表。

(2) フルータ・デル・ノルテ鉱山の予測埋蔵量は、金482万オンス、銀634万オンスであり、創業可能年数は13年と見込まれている。Lundin Gold社の第一段階の投資額は約10億ドルで、右により坑道の建設により創出される直接雇用は約2000件、採掘・開発のフェーズでの雇用創出は約900件、右に加え7000件の間接雇用が見込まれている。

4 マンタ港開発コンセッション事業に関するチリ企業 AGUNSA 社との契約署名

12月16日、マンタ港整備に関するコンセッション事業について AGUNSA 社（チリ企業）との契約署名が行われた旨、マンタ港湾局がプレスリリースをHPに掲載。同企業は、同ターミナルの近代化及び新設に係る設計、ファイナンス、工事、機材調達、オペレーション、維持管理のため、40年間で1億7730万ドルの投資を行う予定。

5 経済政策調整大臣及び財務大臣の交代

コリア大統領は、12日19日付大統領令第1284号により、新たに経済政策調整大臣及び財務大臣を任命した。

(1) 辞任した閣僚

ア パトリシオ・リベラ経済政策調整大臣

イ ファウスト・エレラ財務大臣

(2) 新閣僚

ア ディエゴ・マルティネス経済政策調整大臣

イ パトリシオ・リベラ財務大臣

(2) リベラ財務大臣は経済政策調整大臣からの閣内異動。マルティネス経済政策調整大臣はエクアドル中央銀行総裁（2015年8月に就任）からの異動。

6 2017年の最低賃金の決定

(1) 12月に実施されたエクアドルの労使代表における対話・交渉を踏まえて、12月19日ベレスエタ労働大臣は、2017年の最低賃金(Salario Basico Unificado)を2016年の366ドルから9ドル増加の375ドルとすることを決定した旨発表した。2017年1月10日付官報において、2017年の最低賃金を375ドルとするという労働省決定として掲載されている。